

## 和光台町会との市長と能ん美りカフェトーク

日 時 令和7年12月20日（土）18:00～19:25

会 場 虚空蔵会館

参加人数 12人

○和光台 森田町会長挨拶

○市政報告

（はじめに）

～能美市長の一日・一か月、プロフィールを紹介～

（主なできごと）

- ・2005年に能美市が誕生し、2015年に10周年式典を実施した。また、2015年は北陸新幹線金沢開業の年でもあった。翌2016年にはマイナンバーカード制度が開始された。
- ・2017年はロシア・シレホフ市との親善50周年、姉妹都市提携40周年の節目の年であった。
- ・2018年には夏の甲子園が100回目を迎え、「栄冠は君に輝く」の作詞者である加賀大介氏のタイムカプセルを掘り起こした。
- ・2019年に令和が始まり、翌年にはSDGs未来都市に選定された。
- ・2020年開催予定だった東京オリンピック・パラリンピックは、新型コロナウイルスの影響で1年延期となり、無観客開催となった。
- ・2022年には成人年齢が18歳に引き下げられた。
- ・2023年は加賀立国能美誕生1200年の節目であり、様々な催しを行った。
- ・2024年には北陸新幹線の石川県内全線開業を記念し、「折り紙で作った電車の最多展示」に挑戦した結果、8万2,034枚でギネス世界記録に認定された。記録の証書が市役所に飾っ

であるので、ぜひ見てほしい。

(自然災害など)

・2018年の豪雪や2020年の新型コロナウイルス感染症拡大、2022年8月の豪雨災害、2024年元日の能登半島地震など、これまで様々な自然災害があった。能登半島地震では、市道の陥没や津波警報による大渋滞等が生じた。

・2020年は熊の出没が多かったが、今年も出没が相次いでいる。

(市内の状況)

・TOPPAN(株)が社名変更後、日本国内で初めての進出先が岩内工業団地であった。東芝による2,000億円の投資も発表されている。

・和田山古墳群周辺には、防災センターや警察署、能美ふるさとミュージアムができた。

・能美工業団地には日本ガイシ(株)が進出しており、新たに同面積の工場を建設するため、現在造成工事を行っている。

・能美根上駅も大きく変わった。また、能美根上スマートICが完成し、周辺にはビジネスホテルや飲食店ができた。

・加賀海浜産業道路沿線の福島グランパーク内には、戦略的企業誘致により女性が多く働く企業も進出している。グランパーク内には保育園もあり、今後、総合商業施設もできる予定である。

・遠方の方のお参りの利便性を考え、インターチェンジや新幹線の駅、空港に近い山口町に合葬墓を造った。

・公園整備も進めており、障がいがある子も利用できるインクルーシブ遊具を備えた公園を2か所整備した。また、民間が作ったアドベンチャーガーデンも人気である。

・園舎の老朽化や幼児教育への要望を受け、保育園の民営化に取り組んでいる。公立保育園15園のうち、まずは福島こども園を民営化した。続いて湯野こども園、わかばみどりこども園が民営化で新園舎となった。今、4園目となる福岡こども園の民営化を進めている。

・防災設備を充実させ、はしご車や津波・大規模風水害対策車、ドローン等、いろいろな資材を整えている。また、救急車も能美市の人口規模では、3台体制で十分とされているが、金沢大学附属病院や県立中央病院への搬送を行うとなると、その間、市内が手薄になることから最新鋭の救急車をもう1台増やし、4台体制とした。

(ふるさと能美市を知ろう)

- ・能美市は東西16km、南北5kmで、山林面積が約40%を占める。
- ・県内19市町の中で、人口は上から6番目、面積は下から6番目、人口密度は上から4番目、工業製品出荷額は上から4番目、女性の就業率も上から4番目である。人口当たりの外国人比率が1位であり、国籍別ではベトナム人が最も多く、次いで中国人、インドネシア人である。
- ・特産品は丸いも、ユズであり、たまねぎの生産量も多い。

(令和7年度予算編成方針)

- ・自治体の勢いを示す指標の中でも人口が重要であると考え、能美市では事業・施策の全てが移住・定住の促進につながるよう取り組んでいる。
- ・能美市では自然動態はマイナスである一方、社会動態はプラスであり、自然減を社会増でカバーして、現在は人口が微増している。能美市が子どもを産みやすい環境と評価され、選ばれていることが数字にあらわれている。
- ・高齢化率はずっと同じような数字をキープしている。市内には100歳以上の方が37人いる。内訳は男性3名、女性34名である。
- ・市税が大変好調であり、令和元年に初めて90億円を超え、昨年度も90億円を超えて、令和7年度は過去最高になるのではないかと考えている。この要因として、企業誘致の好調による固定資産税増、人口増、賃金上昇などが挙げられる。
- ・和光台が平成10年にできてから、人口がずっと伸び続けており、現在は1,353人となっている。市内74町会・町内会の中で、面積は66位、人口11位、世帯数18位、人口密度は2位である。そして高齢化率は74位で、一番若い町会である。一方で、12歳以下の人口が少し減っており、平成29年の325人を皮切りに減って今は245人となっている。和光台には歩いていける距離に動物園やアドベンチャーガーデン能美、辰口丘陵公園、様々なお店等がある。現在、和光台五丁目の分譲を行っており、人口をさらに増やし、若い人も増やそうと住宅の合同見学会を行う等、売り込みを積極的に行っている。

(防災減災対策の強化)

- ・行政の最大の役目は、市民の生命と財産を守ることである。
- ・地震被害想定に基づき、避難物資の備蓄を進めている。今年5月に公表された新想定で

は、避難者数が従来想定約2,000人から約3倍に変更された。避難所や避難物資の準備を進めている。

- ・本庁舎に防災・機能強化施設を建築する。水害時に災害対策本部が支障なく開けるよう地下にある電気設備を1階に移すとともに、大災害時に派遣者等を受け入れる場所の確保や避難所設営担当の教育委員会を本庁舎に移すために、新しい施設を本庁舎の横に建築する。季節の風景を楽しめる交流スペースも作り、市民の皆さんに気軽に来ていただけるようにするほか、職員の打合せスペースや休憩場所としても活用する。

- ・あらゆる自然災害時に24時間365日いつでも、身体が不自由な人や高齢者等が災害時に取り残されずに避難できるよう個別避難計画の作成を順次進めている。

- ・市内で交通事故が増えており、市の職員が運転する車は午後4時以降のライト点灯を徹底し、事故防止に取り組んでいる。

- ・県内や市内で特殊詐欺が多い。SNS型詐欺や警察官を騙るケースもあり、高齢者だけでなく若い人も被害にあっている。石川県警から「安全安心・広報インフルエンサー」に任命され、取り組みをブログ等でPRしている。また、詐欺撲滅大使として、ケーブルテレビの「GO! GO! PR」に出演し注意喚起を行っている。また、最近は海外から詐欺電話が多く、外国からの電話がかからないようにできる「国際電話不取扱サービス」があるので、利用を検討してほしい。

#### (インクルーシブシティの深化)

- ・市内公民館にWi-Fiを整備し、デジタル公民館として様々な取り組みを進めている。例えば、高齢者はいきいきサロンやスマホ教室、若い世代はeスポーツ体験、子どもたちはChromebookを持参して学習などで公民館に来てもらう。さらに、子どもが学習で分からない点を高齢者や子育て世代に教わる、高齢者がスマホの使い方を子どもに聞く、といった多世代交流を公民館でできないかと考えている。

- ・オンライン診療にも取り組んでいる。慢性疾患のある方は1か月に1度、薬をもらいに通院する必要があるが、通院せずに公民館でオンライン診療を受けることで、薬が手元に届くようにするための実証を行っている。

- ・二種免許を持たない一般の人が有償で運転する、ライドシェア「ノルノミ」や商品代金にプラス500円で自宅まで商品を届けてもらえるスマート物流も開始したが、両事業とも利用者が少ない。サービスをパッケージングし、サブスクリプションとして利用者を増やせ

ないかと検討している。

・石川県にはID-Linkという電子カルテのシステムがあって、能登半島地震のときに能美市へ避難した方がID-Linkに登録してあったことから、能美市でも薬をもらえたり、透析を受けたりすることができた。万が一、能美市に大きな災害が起こり、市民が他自治体に避難しても、そこでスムーズに薬がもらえるように電子カルテの準備を進めている。また、カルテの共有により、検査結果を他の病院でも確認できるので、検査が不要になり、料金やスピードが速くなったり、緊急搬送時等にも必要な情報を取り出せるようになったりするが、診療情報等にはデリケートな情報も含まれるので、どこまでどの情報を誰に開示するか、きちんと整理しながら、電子カルテの共有化を進める必要がある。

・こどもまんなか社会に取り組んでおり、妊娠期から子どもの青年期まで、切れ目のない支援をするため、サテの2階にこども相談ステーションを設けている。また、不登校児に対応するため、教育センターをサテの後ろにある生活支援ハウスの建物に移し、こども相談ステーションと一体となって、こどものサポートを行う。

(知名度・魅力度の向上)

・20周年記念事業として、8月に実施したNHKラジオ体操の収録では、開始30分前の午前6時に約1,400人が集まり、主催者からお褒めの言葉をいただいた。

・和気の岩ドッグランをリニューアルした。犬が遊ぶ場所を従来の約3倍の大きさに広げるとともに、犬の水飲み場やトイレスペース等も設置した。無料で利用でき、大変多くの方で盛況である。

・北陸鉄道能美線跡の健康ロードもリニューアルした。

・本日開催した男女共同参画シンポジウムで20周年の事業の締めくくりとした。

・のみでん広場の車両を能美根上駅へ移設し、無人コンビニとして活用する計画である。また、旧駅員室は喫茶コーナーとし、そこで働く人たちに駅利用者のサポートをしてもらう計画である。

・辰口フラワーハウス跡地周辺には観光施設等があるため、「道の駅」的機能を持つ施設を整備したいと考えている。

(持続可能な行財政改革)

・市内には小中学校が11あるが、築50年以上が面積比で35%を占めている。

・職員の給与も人事院勧告により増えてきている。建物だけでなく空調や照明も順次更新していかななくてはならず、財源をいかに確保するかが能美市最大の課題となっている。

・財源確保のため、ペーパーレスやフリーアドレスに取り組み、3年間で約1,700万円の経済効果が出ている。また、抜本的な経費削減に取り組むため、全事業・施策の見直しを行っており、30年、50年と続く能美市となるよう頑張っていく。

#### ○意見交換

(和光台の人口について)

【参加者】和光台の12歳以下の人口が減っているという話だったが、能美市全体ではどうか。

【市長】能美市全体でも減っている。若い世代に能美市へ転入してもらうこと、また1人でも多く子どもを育んでもらうことが重要である。そのため、戦略的企業誘致を進め、女性が働いてみたいと思う職場を増やし、職の数だけでなく種類も増やしている。あわせて、1日いても飽きない遊び場も大切である。市内にはフィッシュランドや動物園もあるが、全天候型大型遊戯施設を望む声が多い。現在、石川県と協力し、辰口丘陵公園に施設を整備できないか検討している。こうした取り組みを進め、若い世代に選ばれる市にしていきたい。

(ライドシェアについて)

【参加者】ライドシェアの仕組みや条件を知りたい。

【市長】前日17時までに予約すると目的地まで行けるが、行き先は買物、病院、温浴施設などに限定している。のみバスの利用状況でも買物、病院、温泉の利用が多かったため、ライドシェアで補完できるようにした。しかし、利用者が伸びていない。

(全国大会等の出場に伴う激励金について)

【参加者】子どもが都道府県駅伝に出場する。去年は全中と都道府県駅伝に出て、市から激励金をいただいたが、今年は案内がないのはなぜか。

【市長】担当課が把握していない可能性があるため、調べてみる。

(公共交通について)

【参加者】3月に北鉄の和光台のバス停がなくなると発表された。子どもたちが高校へ通うのに困るので、能美市で金沢方面に行っている子どもを集めて、バスを出してもらえると助かる。

【市長】バスの利用状況を調べたら、1人しか乗っていなかった。

【参加者】1人ではないはず。大概2～3人いるが、遅れてバスに乗れない子どもがいたのかもしれない。

【市長】利用が少ないと運転手不足もあり、維持が難しい状況である。

【参加者】緑が丘までつなぐバスはどうか。

【市長】そちらも利用者数が少ない。一定数の利用があれば運行につながるため、どれぐらいの利用があるのか調査してみようと思う。

【参加者】今から高校選びをする子どもたちも、和光台からバスがないと、金沢方面を選びにくくなるのではないか。

【市長】小松方面を含めて地元の高校に進学してもらおうと、様々な意味で今後に関がっていく一方、金沢方面への支援は理由付けが難しくなる。また、和光台だけでなく全市民に同様の対応が必要になるため、まずは利用実態を確認したい。

【参加者】娘も金沢の高校に通っていたが、朝のバスはあっても帰りのバスがなく、送り迎えをしていた。バスを作るなら、朝と帰りを考えたダイヤにしてほしい。

【市長】朝は始業時間が大体同じだから良いが、帰りは学校や部活等によってバラバラであるから難しい。

【参加者】以前、和光台に100円バスで能美根上駅から朝6時台・7時台・8時台の3本があったが、行きは1本しかなく、時間が合わず廃止になった。朝は2本ぐらい、帰りは2～3本がベストではないか。

【市長】運行には利用者数が課題である。利用者数が少ないと、利用者数が多い地域に便を回さざるを得ず、利用が少ない地域は減便につながる。少人数の利用であれば、和光台でライドシェアを試すことも考えられる。例えば市でワゴン車を用意し、皆さんに使ってもらう方法もある。まずは利用状況を確認したい。

(九谷焼若手作家支援について)

【参加者】

九谷焼は能美市の強みだと思う。しかし、若手作家の収入が少なく、ダブルワークが必要になったり、続けられず辞めたりする話を聞く。市外から九谷焼に魅力を感じて、人生をかけて能美市に来た人が、道を絶たれて帰ってしまうのは残念である。修行時に安い賃金で働く構造にも目を向けてもらえないか。一方で、市が行った若手作家のコンクールは刺激になり、良い取り組みだったと聞いた。

【市長】九谷焼技術研修所卒業者を市内企業が雇った場合の支援や、市外から転入して市内のアパートに住む場合に1か月あたり5,000円補助する制度がある。技術を修練してもらう期間の支援メニューを設けているので活用してほしい。家賃補助は2年間であり、自分で窯を持つ場合の支援もある。支援工房はあるが、現在は定員が埋まっている。制度には条件もあるため、内容を確認してほしい。20周年を記念して今年は公募展も行い、1位作品に100万円を授与した。毎年開催は予算上厳しく、また、ある程度期間がある方が良い作品を生みやすいのではないかと考えており、次回の予定は未定であるが、若手作家の支援は重要であると考えている。

【参加者】様々な支援制度はあるが、師匠からの賃金が少ない点が厳しい。

【市長】技の世界であり、鍛錬して磨いてもらうしかない面もある。人気のある若手作家もいるので、ぜひ目指して頑張してほしい。

(動物園の臭いについて)

【参加者】動物園の下水の臭いがひどく、日や風向きにもよるが、洗濯物が干せないと聞いた。

【市長】動物園を所管する県もその問題を把握して、対策をとったと市では聞いていた。まだ解消していないのであれば、調べる。

(除雪、買物環境について)

【参加者】

道路の雪が除雪車によって玄関前に寄せられ、固まって人の手では対応できない。子どもが通る歩道も雪でいっぱいになる。除雪車が通った後の雪をどけてもらえないか。高齢者だと雪かきが難しく、不便である。民生委員の方が対応してくれることもあるが、忙しそうなので申し訳ない。和光台にせっかく家を建てたが、買物も不安で、年をとって、車に乗れなくても住める町にならないか。

【市長】買物に関しては、移動販売車はどうか。

【参加者】木曜日に移動販売車も来ているが、品ぞろえが豊富とはいえない。パンや惣菜、日用品は買えるが、刺身は少ししか並んでいない。金沢大学跡地の開発の話も聞くので、あの辺にミニスーパーができると良いと思っている。

【市長】この間、ある移動販売車を見に行ったが、多くの人を買物に来ていた。要望があれば、その商品を持ってきてくれると思うので、一度利用を検討してほしい。常設の店の出店は民間業者による判断であり、現状では難しいので、移動販売等はどうかと考えている。雪については、除雪業者に注意して作業するよう伝える。ただし移動や救急の観点から車道が優先となるため、雪が寄せられることはある。できるだけ配慮するよう伝えておく。

(避難所について)

【参加者】能美防災と提携して、N-HOPSを根上地区で実験的にやっているが、このあたりの避難所となる和気小のデータも早めに導入してもらえると嬉しい。また、土日で学校が閉まっているときに地震があった場合に備えて、鍵をどこかに置いておくことはできないのか。

【市長】急を要する避難のときに鍵を待つことはできないため、ガラスを割って入ってほしい。

○閉会